Creative Enzymes®

ネイティブヒトトロンビン

Cat. No. NATE-0699

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	トロンビンは、ヒトではF2遺伝子によってコードされるセリンプロテアーゼです。プロトロンビン（凝固因子II）は、凝固カスケードにおいてプロテオリティックに切断されてトロンビンを形成し、最終的には出血の減少をもたらします。トロンビンは、可溶性フィブリノーゲンを不溶性のフィブリンの繊維に□換するセリンプロテアーゼとして作用し、さらに多くの凝固関連反□を触媒します。
別名	トロンビン; 9002-04-4; EC 3.4.21.5; フィブリノゲナーゼ; トロンバース; トロンボフォート; トピカル; トロンビン-C; トロポスタチン; 活性化血液凝固因子II; 血液凝固因子IIa; 因子IIa; Eトロンビン; β-トロンビン; γ-トロンビン

製品情報

種	人間
由来	ヒト血漿
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.21.5
CAS登□番号	9002-04-4
活性	600-2,000 NIH単位/mgタンパク質（ビウレット）または > 2,000 NIH単位/mgタンパク質（E1%/280 = 19.5）; > 125 NIH単位/mgタンパク質（ビウレット）
緩衝液	再構成すると、1 mLの水で、バイアルには0.15 M塩化ナトリウムおよび0.05 Mクエン酸ナトリウム、pH 6.5の状態で記載された活性が含まれています。
代謝□路	アンジオポエチン受容体Tie2を介したシグナル伝達、特定の生物系; 血液凝固カスケード、特定の生物系; 血管壁での細胞表面相互作用、特定の生物系; クラスA/1（ロドプシン□受容体）、特定の生物系; 共通□路、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系
機能	カルシウムイオン結合; 成長因子活性; ペプチダーゼ活性; タンパク質結合; 受容体結合; 受容体結合に寄与; セリン型エンドペプチダーゼ活性; トロンボスポンジン受容体活性